

## □ はじめに

---

山元町再編小学校在り方検討委員会では、設置要綱第2条の所掌事務の内容を受け、視察を含め計8回の委員会を開催し検討を重ねてきました。その結果として、学校形態、学校施設の形態、学校の特色の3点についての意見をまとめ、本報告書を作成しました。

本委員会では、委員一人一人が所掌事務が示す内容について理解を深め判断の一助とすべく、小学校再編に係る基本的な事項を十分におさえたいうえで検討を進めました。

また、小学校1校・中学校1校の自治体の事例、施設分離型小中一貫校の事例などを確認したり、小中一貫校や義務教育学校として教育実践を行っている先進校の視察を実施したりするなど、判断をする上での様々な材料を担保してきました。

特に、先進校の視察では、小中一貫校や義務教育学校の良さや課題を把握することに努めるとともに、アンケート調査により委員の意見を集約し、それらを基に十分に議論を進めてまいりました。保護者や地域の代表である委員一人一人が小学校再編をそれぞれの立場で自分事として捉え、具体的な意見を数多く出し合い、4章にあるまとめに至ったところです。

しかしながら、同時に課題も残りました。学校形態では、小中一貫校にすべきか義務教育学校にすべきかの判断や教育課程の区切りについて、学校施設の形態としては、施設一体型か施設併設型かについての判断です。これらの課題については、別途新たに設置が予定される委員会や庁内委員会で検討していただく予定です。

今後、この「報告書」が最大限生かされることで、小学校再編が円滑に推進され、これからの山元町の学校教育環境の充実が図られていくものと考えます。さらには、新たな時代の学校づくりが実現し、これからの社会をたくましく生き抜いていく児童生徒の育成が図られることを願ってやみません。

末筆になりますが、視察の際に詳細な資料と丁寧な説明をいただいた女川町教育委員会、女川町立女川小・中学校及び色麻町教育委員会及び色麻町立色麻学園をはじめ、ご協力をいただいた皆様、事務局をご担当いただいた山元町教育委員会の方々に、心から感謝申し上げます。

2024年10月

山元町再編小学校在り方検討委員会